

残暑厳しい9月10日、「コミュニティたづるの 乳幼児学級」12人は、金剛寺のぶどう農園で、親子一緒にぶどう狩りを行いました。

ぶどうの種類は、豊岡特産のピオーネと、赤色で人気のクイーンニーナです。好みのものを1家族2房収穫しました。ぶどうは、袋の上から優しく触ってみて大きそうなものを選び、気に入ったら袋の下を少し開いて、房の様子を確認してから収穫します。ぶどう棚は高いので、お父さん、お母さん、おばあちゃんたちに抱えられたり、コミュニティのスタッフさんたちにもサポートしてもらいながら収穫していました。少しでも大きいものを探して、一生懸命園の中を探して回る親子や、ぶどうよりも園にいる虫を追いかける子供たちもいて、暑い日でしたが、賑やかにぶどう狩りを楽しんでいました。収穫が終わり、ぶどうを持ち寄って記念撮影、子供たちはすぐに食べたい気持ちを我慢して、満足そうに持ち帰りました。

例年になく酷暑を乗り切ったぶどう、少し冷やしておいしく召し上がってください。

(農業委員会長 村田 憲夫)



全国農業新聞を購読してみませんか!

農業の最新情報を提供

週刊(毎週金曜日発行) 月700円

(送料、消費税込)

*お申し込みは

農業委員会事務局または、
地元の農業委員・推進委員
まで

編集後記

国連のアントニオ・グテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と警告されました。

今年の夏は例年になく酷暑や少雨などの異常気象により、農作物の収量や品質に影響が出ました。さらに生産資材の高騰が重なり、農業所得の低下が心配です。

一刻も早い高温に強い品目・品種の改良が待たれます。

終わりにりましたが、便りの記事へご協力いただきありがとうございました。

(編集委員長 原 清美)



農委だより第56号は私たちが担当しました。

後列左から 瀧下委員、仲川委員、池畑推進委員、尾藤委員
千原推進委員、石原委員、川崎委員

前列左から 田中委員、宮岡委員、原委員、村田会長、大谷委員
杉本推進委員